



学校だより

白樺の学舎

松本市立波田中学校 令和5年1月23日 NO.10

令和四年度
学校教育目標
「やかたづくり」
やさしさ
かしこさ
たくましさ

3学期のスタートに当たり ～始業式での話～

(前略) 高校の全国大会が年末年始に開催され、波田中を卒業した先輩の活躍がありました。高校駅伝では長野東高校3年の村岡美玖さんがアンカーとして快走し初優勝に大きく貢献しました。また、バスケットボールでは岐阜女子高校2年の紮野夏海さんがチームの大黒柱として大活躍し、全国ベスト4に貢献しました。高校生となった多くの先輩方が、それぞれの舞台で切磋琢磨しながら自分磨きの日々を送っていると思うと、後輩である私たちも負けてはいられない・・・そんな勇気ややる気をもらったのではないかと思います。天候だけでなく、令和5年の私たちのスタートに勢いをつけてもらったように感じました。(中略)

先ほどの代表生徒の皆さんの発表にもあった通り、3学期は短いですが、4月からの令和5年度につなげる極めて大事な学期です。それぞれに新年の決意、3学期の目標を明確にしていることと思いますが、仲間との関係、つまり人間関係にかかわっての話をします。

私たちは、思いやりが大事だとわかっているのに、ついだれだれが悪いと悪口を言ったり、嫌がらせをしたり、相手をリスペクトする気持ちをどこかにおいてきてしまうことがよくあります。なぜでしょうか。大きな理由の一つに、心にゆとりがないことが挙げられます。どうしても自分のことで精一杯になってしまい、相手のことまで考えていられないという焦りが言葉や態度に表れてしまうわけです。だから、自分らしさを発揮するためにも心に隙間を作っておくことが大事です。心に余裕を持つ、そんな3学期を心掛けましょう。人と人とのふれあいの中で、言葉やまなざし、その他のさまざまな行動を通じて与えられる刺激のことを心理学では「ストローク」といい、人が生きていくうえで非常に重要なものであるとされています。ストロークには、プラスのストロークとマイナスのストロークがあります。プラスのストロークは「あなたはかけがえのない大切な人間です。無条件にあなたの存在そのものが大事です。」というメッセージをまなざしや言葉などいろいろな形で相手に与えることを言います。簡単に言えば、「元気に挨拶する」「大丈夫だよ、と励ます」「すごいじゃん、とほめる」「微笑んだりうなずいたりして、私もそう思っているよ、というメッセージを送る」「相手の目を見て話を聴く」などのことです。クラスメイトにプラスのストロークを与えるには、自分の中にプラスのストロークがたくさん貯まっていることが必要だと言われています。自分の心の中に、プラスのストロークがたくさん貯蓄されているとクラスメイトに対してもプラスのストロークを与えることができ、結果として、お互いにプラスのストロークを与えたり、受けたりすることができ、ますますプラスのストロークが心にたまっていくという素敵な循環が生まれるのです。これって、思いやり算と同じじゃんと思った人、さすがです。



一方、マイナスのストロークは「なんだあいつ」「またお前か」「何をやってもダメだな」など、表情や言葉でそれをもらうと嫌な気持ちになるものをいいます。皮肉や嫌味を言ったり、無視や仲間外れの行動をとったり、必要な情報を取って伝えなかったり、これらもマイナスのストロークになります。プラスのストロークが少ししかたまっておらず、マイナスのストロークが多くとまっていると、憂鬱な気分になって、何事に対しても“つまらない”とか“どうでもいい”という気分になりがちです。まさに自分のことだけで精一杯、心に隙間が全くない状態に陥ってしまうのです。プラスのストロークは「あなたは大切な存在です」という無条件の愛を注ぐことであり、それは「思いやり」の究極の形と言えます。自分も仲間も喜びの多い日々にして、笑顔で

潤いある友達関係を広げ、学級目標の達成や自分自身のやかたづくりの推進につなげる3学期にしていきたいと思います。そのためにも2学期よりもほんの少しだけ心の中の「優しい気持ち」を積極的に表してみてください。それこそがプラスのストロークなのです。波田中全体にプラスのストロークが飛び交い、笑顔広がる3学期になることを願っています。

生徒代表の発表内容（順調な4月スタートに繋げるための決意）

1年生…①積極的に授業に参加する ②忘れ物をなくし、きちんと課題を提出する

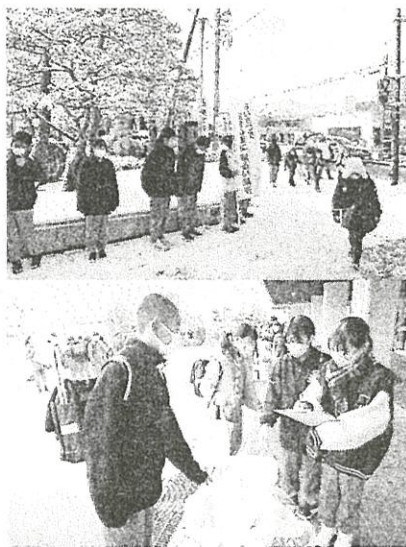
2年生…①冬季の部活動がんばる ②計画的に勉強する ③積極的に生徒会活動にかかわる

3年生…①進路実現に向け苦手教科克服に取り組む ②挨拶を大事にしながらか友達との最後の時間を助け合いながら過ごす



2年生主導の生徒会活動スタート

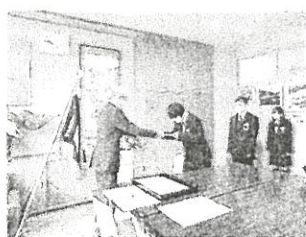
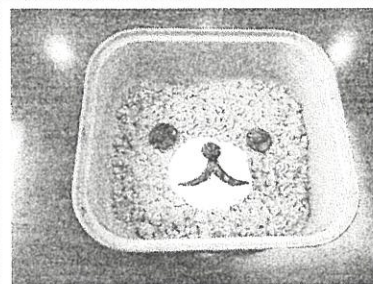
『「町キレ・挨拶運動」は自分たちが背負っていく』の思いを強める2年生・・・その気持ちが素晴らしい



3連休明けの10日（火）、11日（水）に2年生が主導する最初の「町キレ・挨拶運動」がありました。10日は数センチの積雪のある中での活動となり、きっと2学年の皆さん（特に新役員の皆さん）は不安を抱えながら朝を迎えたことと思いますが、2日間を無事に終えて手ごたえはいかがでしたか？

挨拶運動で街頭に立ち、一生懸命「おはようございます」の挨拶をがんばっていた2年生に「12月までの挨拶運動と何か違いますか？」と聞いたところ、「違います。自分たちがやっていたという気持ちが12月までとは違います。」という返答でした。とても頼もしく感じましたし、このようにして波田中生徒会の大事な活動が形だけでなく、気持ちとともにつながっていくのだとうれしく思いました。

12月22日（木）は2学期最後の給食でしたが、給食準備の時に角缶の蓋を開けたら見事な『キャラ弁』が表れて、各教室では歓声や驚きの笑顔が溢れたことと思います。中学生に喜んでほしいと給食センターの調理員の皆さんが思いを込めて仕上げてくださいました。見事な力作でした。「これを崩して配るのもったいない」そんな声が聞かれたようです。給食センターの皆さん、本当にいつもおいしい給食、ありがとうございます。



左の写真は2学期終業式での賞状伝達式の様子です。各方面における多くの生徒の活躍をうれしく感じました。

令和5年を迎え、今年も体調管理に万全を期し、感染対策に最大限留意しながら学校教育活動を展開していくこととなります。学校職員あげて尽力してまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。

3学期はあっという間。気づけば大寒も過ぎ、少しずつ日が長くなり、窓越しの陽光に着実な季節の移ろいを感じますが、寒さはまだしばらく続きます。どうぞ皆様ご自愛いただき、生徒の日常を見守りください。（文責 校長 藤松輝州）